

令和4年度
学校関係者評価書

〈専〉 京都建築大学校

1. 実施日

第1回目 令和4年9月 5日(月)

第2回目 令和5年3月13日(月)

2. 学校関係者評価委員

(1) 委員

杉島 敬志 氏	放送大学 京都学習センター 所長
元山ゆたか 氏	一般社団法人 日本インテリア設計士協会 副会長
畠山 千代 氏	京都建築大学校卒業生 畠山悟さんの保護者
伏木 道雄 氏	伏木道雄建築設計事務所
浅田 能男 氏	アサダデザイン事務所 代表取締役
(議長) 沖嶋 秀樹 氏	京都建築大学校卒業生

(2) 任期

委員任期を令和4年4月1日から令和5年3月31日とする。

3. 総括

- 1) 京都建築大学校の教育活動、学習成果、学生支援等の取組みについて、企業、卒業生、保護者の視点から検証を行った。
毎年多数の資格合格者を出し、就職率も非常に高い。このことから京都建築大学校においての教育成果が出ていることが分かる。したがって自己評価の結果は妥当であると判断できる。
- 2) 令和5年度からは、一級建築士を在学中に合格することを目標においたエキスパートコースが新設される。令和4年度は、在校生で一級建築士に合格した学生が6名いた。このコースが出来ることによりさらに多くの現役合格者が出ることを期待している。
- 3) 改正建築士法の施行により、工業高校建築科出身(認定校)であれば、1年生で二級建築士の受験が可能になった。さらに本科建築科を卒業すれば一級建築士の受験も可能である。京都建築大学校では、入学すればこれらの資格の受験講座もある。工業高校建築科出身生が建築系大学に入学しても、また基礎からの授業になってしまう。工業高校で勉強したことが生かされない。
- 4) 少子化が進む中、学生募集も苦戦するが、上記2) 3) のことを高校訪問の際に話して

いけば入学者増加になるのではないか。

5) 二級建築士・インテリアプランナー等の合格者数が順調に推移している。指導体制が確立しているからであろう。一級建築士については指導体制を確立しようとしているところである。期待したい。

本委員会一同、教育理念に基づいてより良い教育が行えるように協力をしていきたい。

委員会で検討された事項

検討事項				学校関係者の評価・提言
基準	項目	総括	自己評価	
学校運営	事業計画	毎年、事業計画を作成、理事会で報告し、法人ホームページで公開している。計画の進捗状況の管理と見直しを行っている。	4	適正に運営されている。
教育活動	目標の設定	資格取得やより実践的な職業教育を行えるような課程の編成・実施に向け教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会の意見を採り入れている。	4	適正に運営されている。
	教育方法・評価等	本校の教育理念である「即戦力を身に付けた人材の育成」に基づいた教育を実施している。それには、資格と実務能力が不可欠と考えている。教育課程は毎年見直し、検討を行っている。	4	適正に運営されている。
	資格・免許の取得の指導体制	目標とすべき資格の内容・意義について明確にし、繰り返し説明し指導を行っている。	5	教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会の提言を受け、資格試験の合否結果を分析して講座の理解度を上げるため努力して

				いる。
	教員・ 教員組織	分野毎に必要な教員体制を整備している。業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めている。	4	積極的に教員の採用を行っている。女性教員も採用し、より良い教育体制で臨んでいる。新任教員の育成に力を入れている。
学 修 成果	資格・免許 の取得率	常に改善を意識し、資格取得率の向上を目指している。	4	適性に運営されている。 オンデマンド方式の学習を積極的に取り入れ、繰り返し学習が出来る環境を整備している。
	就職率	就職専門スタッフが行っている。学生個人の適正・能力等を考慮した指導を実施している。	5	就職率は高い水準で推移している。 学生独自で就職活動を行っているケースでのアドバイス不足・進捗状況の把握が遅れがちにならないようにしている。 卒業生の離職率は数%と極めて少ない。
学 生 支援	学生相談	担任は、学生の変化の兆候を見逃さずに捉え、面談等を実施し、その都度対応している。	4	専門のカウンセラーも配置し対応している。
	保護者との 連携	クラス担任制を導入しているので、担任が必要に応じて対応している。業務時間内での保護者への連絡が困難な場合が増えており担任の負担が増している。		担任の負担が大きくなると懸念されるが、保護者との連携は必要である。
教 育 環境	防災・ 安全管理	消防用設備等の定期点検を実施しており、改善が必要な箇所については、随時対応をしている。	4	適正に運営されている。 防災・安全対策マニュアルを教職員に所持させ、入学生全員にも配布し説明している。
学 生 募集	学生募集 活動は、 適正に 行われて いるか	会場ガイダンス等の進学説明会に参加している。また高校訪問を行い、学校の情報提供を行っている。	4	適性に運営されている。 より学校の認知度を高めるための広報活動を実施している。

	入学選考	学生一人ひとりに対して、書類選考、面接を行っている。 エキスパートクラスには、選抜試験（数学又は英語）を行っている。	4	適性に運営されている。
	学納金	物価が高騰しているので、学費等が負担にならないような金額を設定している。	4	適正に運営されている。
法令の遵守	個人情報保護	個人情報の保護に関する規定に基づき、運用している	4	適正に運営されている。
	学校評価	「自己点検・自己評価実施委員会において改善に取り組んでいる。	4	適正に運営されている。
	教育情報の公開	ホームページにおいて、学校の概要、教育内容等を情報公開している。	4	適正に運営されている。 学生・保護者に対しては、学生便覧ならびにシラバス冊子を配布している。